東京都立石神井高等学校　平成３０年度　教科（　芸術　）科目（　音楽Ｉ　）　年間授業計画

教　　科：芸術　科　　目　音楽Ｉ：単位数：　２単位
対象学年組：第　１学年　A組～G組
教科担当者：(A～G組：佐々木)
使用教科書：（　　音楽Ｉ　Tutti　　）
使用教材　：（　　）

	指導内容	科目　音楽Ｉ　の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
	オリエンテーション	ルールの徹底　　校歌に触れる。	態度　　取組の様子。	2
４月	校歌 上を向いて歩こう　読譜：春が来た リズム表現：ヤンチャ なチャチャチャ	校歌を暗譜し、愛着を持って歌わせる。　　音符をドレミで正しく歌う訓練。 音符のリズムを理解し、等速感を身に付けさせる。	積極性。周りの音、リズムとのアンサンブル力。読譜力。表現力。	2

	指導内容	科目　音楽Ⅰ　の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
5月	校歌 上を向いて歩こう　読譜：春が来た リズム表現：ヤンチャ なチャチャチャ	楽しみを持って、豊かに表現できるように練習する。	積極性。周りの音、リズムとのアンサンブル力。読譜力。表現力。	2
	校歌テスト：暗譜で独唱	暗譜・相応しい表現、声量、音程で歌うことを意識し、取り組ませる。	実技テスト　練習への取組。発声、発音、曲の理解への学習の様子、テストでの出来栄え。独唱能力。	2
	応援歌　読譜：春が来た　上を向いて歩こう 合唱曲：手紙	応援歌に触れ、親しみを持たせる。　3部合唱で歌う。一人一人にしっかりと声を出させる。	音程の正しさ。音楽的表現力。 発音の大きさ、音色のきれいさ、丁寧さ。	2
	ヤンチャなチャチャチャ　発表会	発表会の場で、練習の成果を発揮させる。真面目に取り組ませる。	発表会　音楽的な表現力。アンサンブル力。	2

	指導内容	科目　音楽Ⅰ　の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
6月	合唱曲：手紙 キーボードハーモニー：パッヘルベルのカノン	曲の持つ特徴を理解し、元気よく歌わせる。 キーボードの導入：興味を持たせ、出来る楽しさを味あわせる。		2
		左手奏～右手奏～両手奏へと段階的に習得させる。メロディに対する伴奏として取り組ませ、アンサンブルの楽しさを感じさせる。	読譜力、正しい指使い、演奏力。アンサンブル能力。　　練習への取組。	
	合唱曲：手紙 キーボードハーモニー：パッヘルベルのカノン	仕上がりのイメージを持って取り組ませる。細かいところの反復練習を行う。 片手奏～両手奏の練習。	音程の正しさ。音楽的表現力。 発音の大きさ、音色のきれいさ、丁寧さ。取り組みの様子。	2

	指導内容	科目　音楽Ⅰ　の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
7月	合唱曲：手紙 キーボードハーモニー：パッヘルベルのカノン	仕上がりのイメージを持って取り組ませる。細かいところの反復練習を行い仕上げる。 片手奏～両手奏の練習。	正しい音程で、表現豊かにしっかり声をだし歌えたか。暗譜できているか。	2
		左手奏～右手奏～両手奏へと段階的に習得させる。メロディに対する伴奏として取り組ませ、アンサンブルの楽しさを感じさせる。		

	指導内容	科目　音楽Ⅰ　の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
8月				

	指導内容	科目　音楽Ⅰ　の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
9月	椰子の実 心の瞳 3部合唱：走る川 キャロル：パッヘルベルのカノン	曲を理解し、相応しい表現で歌わせる。　合唱曲に集中して取り組み、声を合わせる。両手奏に取り組ませる。	心を合わせて合唱できたか。表現力豊かに演奏し、また、鑑賞もできたか。	2
		左手奏～右手奏～両手奏へと段階的に習得させる。メロディに対する伴奏として取り組ませ、アンサンブルの楽しさを感じさせる。	自分たちで工夫してアンサンブルできたか。読譜～ベルの配分～練習～発表の過程でのグループでの取組の様子。	

	指導内容	科目　音楽Ⅰ　の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
10月	椰子の実テスト	最後まで暗譜で歌う。強弱、ブレス、曲想を評価する。	実技テスト　正しい音程で、表現豊かにしっかり声をだし歌えたか。暗譜できているか。	2
	キーボードテスト	メロディと合わせ、アンサンブルに取り組ませる。	実技テスト　積極性。周りの音、リズムとのアンサンブル力。読譜力。表現力。	2
	キーボードテスト	メロディと合わせ、アンサンブルに取り組ませる。	実技テスト　積極性。周りの音、リズムとのアンサンブル力。読譜力。表現力。	2
	リズムと歌：風になりたい ギター導入	ラテンのリズム表現に取り組ませる。 初歩からギター演奏を学ばせる。チューニングの方法・コードの学習・ストロークの学習～演奏まで出来るように指導する。	リズム感、音楽的な表現力。アンサンブル力。　練習への取組。コードの理解。演奏技術。歌声とのバランス。	2

	指導内容	科目　音楽Ⅰ　の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
11月				
	リズムと歌：風になりたい ギター導入	ラテンのリズム表現に取り組ませる。 初歩からギター演奏を学ばせる。	実技テスト　練習への取組。発声、発音、曲の理解への学習の様子、テストでの出来栄え。独唱能力。	2
	リズムと歌：風になりたい ギター弾き語り練習	歌に合わせて、リズム楽器でアンサンブル演奏に取り組ませる。リズム譜に慣れさせる。 1曲を通して、弾き語りできるまで、取り組ませる。チューニングの方法・コードの学習・ストロークの学習～演奏	実技テスト。練習への取組。コードの理解。演奏技術。歌声とのバランス。　音楽的な表現力。アンサンブル力。	2

	指導内容	科目　音楽Ⅰ　の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
11	リズムと歌：風になりたい ギター弾き語り練習 鑑賞	歌に合わせて、リズム楽器でアンサンブル演奏に取り組ませる。リズム譜に慣れさせる。 1曲を通して、弾き語りできるまで、取り組ませる。チューニングの方法・コードの学習・ストロークの学習～演奏	練習への取組。コードの理解。演奏技術。歌声とのバランス。　音楽的な表現力。アンサンブル力。	2
	ギターテスト	弾き語り。歌とのバランス、演奏技能を評価する。	実技テスト。練習への取組。コードの理解。演奏技術。歌声とのバランス。　音楽的な表現力。アンサンブル力。	2
12月				

	指導内容	科目　音楽Ⅰ　の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
1月	アカペラ4部合唱：An die freude ハンドベル導入	ドイツ語の発音、曲の理解、アカペラでのハーモニー作りに取り組ませる。 ハンドベルのグループ作り、選曲を行う。	ドイツ語の発音。自分たちで工夫できたか。読譜～ベルの配分～練習～発表の過程でのグループでの取組の様子。	2
	アカペラ4部合唱：An die freude ハンドベルのグループ練習～仕上げ演奏練習	音程の正確さに挑み、他声部とのバランスを味わって歌えるように取り組ませる。　自主練習を通して、アンサンブルの楽しさ、やりがいを感じさせる。	積極性。周りの音、リズムとのアンサンブル力。読譜力。表現力。グループへの貢献、取り組みの様子。	2

	指導内容	科目　音楽Ⅰ　の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
2月	アカペラ4部合唱：An die freude ハンドベルのグループ練習～仕上げ演奏練習	音程の正確さに挑み、他声部とのバランスを味わって歌えるように取り組ませる。　自主練習を通して、アンサンブルの楽しさ、やりがいを感じさせる。	音程の正しさ。音楽的表現力。 発音の大きさ、音色のきれいさ、丁寧さ。グループアンサンブルの出来映え。	2

	指導内容	科目　音楽Ⅰ　の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
3月	アカペラ4部合唱：An die freude ハンドベル発表会に向けての仕上げ演奏練習	音程の正確さに挑み、他声部とのバランスを味わって歌えるように取り組ませる。　自主練習を通して、アンサンブルの楽しさ、やりがいを感じさせる。	言葉の発音。音程。知識が身についているか。　音楽を感じ取り聴けているか。	2
	アカペラ4部合唱：An die freude ハンドベル発表会に向けての仕上げ演奏練習	音程の正確さに挑み、他声部とのバランスを味わって歌えるように取り組ませる。　自主練習を通して、アンサンブルの楽しさ、やりがいを感じさせる。	自分たちで工夫してアンサンブルできたか。読譜～ベルの配分～練習～発表の過程でのグループでの取組の様子。	2
	ハンドベル発表会	練習の成果を発揮し、満足感を持てる発表となるように取り組ませる。	集大成として、心を合わせて合唱できたか。表現力豊かに演奏し、また、鑑賞できたか。	2